

【表紙】

【提出書類】	訂正有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年3月10日
【発行者名】	ファイブスター投信投資顧問株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 篠原 直人
【本店の所在の場所】	東京都中央区入船一丁目2番9号 八丁堀MFビル
【事務連絡者氏名】	河村 誠
【電話番号】	03-3523-9556
【届出の対象とした募集内国投資信託 受益証券に係るファンドの名称】	M A S A M I T S Uデータセクション・ビッグデータ・ファ ンド
【届出の対象とした募集内国投資信託 受益証券の金額】	上限5,000億円
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

2019年11月27日付けをもって提出しました有価証券届出書について、投資信託約款の変更予定にかかる情報を追加するため、本訂正届出書を提出します。

【訂正の内容】

原届出書の該当内容は、以下の内容に訂正いたします。

第一部 【証券情報】

(12) 【その他】

以下の内容に更新・訂正致します。

<更新・訂正後>

<投資信託約款の変更予定のお知らせ>

「MASAMITSUデータセクション・ビッグデータ・ファンド」（以下、当ファンドといいます。）および当ファンドの主要投資対象である「MASAMITSUデータセクション・ビッグデータ・マザーファンド」（以下、マザーファンドといいます。）は、投資信託約款の変更を予定しております。

1. 投資信託約款の変更の理由

当ファンドは2015年8月28日に設定され、現在までデータセクション株式会社と共同でAI（人工知能）を用いてビッグデータを分析し、その分析結果を有効活用する形でファンド運用を行ってまいりました。しかし、この5年間でビッグデータ分析やAIに関する事業環境が大きく変化し、将来を見据えた新たな運用体制の確立が必要となって参りました。

そこで、人間の知見とAI・ビッグデータ分析の強みの最適融合を通じたリターン向上を目的とし、この度、株式会社 Link - Uと協力することとなりました。これに伴い、マザーファンドの運用方針を整備し、かかる変化に対応した投資信託約款に変更することいたしました。

本議案が可決となった場合、以下の約款変更（重大な約款変更には該当いたしません。）をあわせて行う予定です。

・当ファンド名称およびマザーファンド名称の変更

当ファンド名称を「MASAMITSU・Link - U・ビッグデータ・ファンド」に変更

マザーファンド名称を「MASAMITSU・Link - U・ビッグデータ・マザーファンド」に変更

* 相手先の概要

(1)	名称	株式会社 Link - U
(2)	所在地	東京都千代田区神田駿河台四丁目4番1号 4F
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 松原 裕樹
(4)	事業内容	サーバープラットフォーム事業
(5)	資本金	469百万円
(6)	設立年月日	2013年8月
(7)	大株主及び持株比率	松原裕樹(34.5%)、山田剛史(34.5%)、他

(8)	当社と当該会社 との間の関係	資本関係	該当する項目はありません。	
		人的関係	該当する項目はありません。	
		取引関係	該当する項目はありません。	
		関連当事者への 該当状況	該当する項目はありません。	
(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態				
	決算期	2017年7月期	2018年7月期	2019年7月期
	純資産	341,647千円	551,715千円	1,475,041千円
	総資産	577,399千円	729,002千円	1,781,181千円
	1株当たり純資産	82.92円	131.24円	331.10円
	売上高	628,803千円	610,247千円	1,085,759千円
	営業利益	278,318千円	207,115千円	398,721千円
	経常利益	279,424千円	211,082千円	389,982千円
	当期純利益	166,267千円	149,168千円	272,131千円
	1株当たり当期純利益	40.36円	36.00円	64.57円
	1株当たり配当金	0円	0円	0円

2. 投資信託約款の変更内容(該当部分のみ抜粋しております。)

当ファンド

下線部は変更部分を示します。

変更後	変更前
-----	-----

<p><ファンド名></p> <p style="text-align: center;"><u>MASAMITSU・Link-U・</u> <u>ビッグデータ・ファンド</u></p> <p style="text-align: center;">運用の基本方針</p> <p>2. 運用方法</p> <p>(1) 投資対象</p> <p><u>MASAMITSU・Link-U・ビッグデータ・マザーファンド</u>（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券への投資を通じて、我が国の金融商品取引所上場株式に実質的に投資します。なお、我が国の金融商品取引所上場株式ならびに短期金融商品に直接投資することもあります。</p> <p>（中略）</p> <p>【有価証券および金融商品の指図範囲等】</p> <p>第17条 委託者は、信託金を、ファイブスター投信投資顧問株式会社を委託者とし三井住友信託銀行株式会社を受託者として締結された<u>MASAMITSU・Link-U・ビッグデータ・マザーファンド</u>（以下、「マザーファンド」といいます。）の受益証券、ならびに次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図することができます。</p> <p>（以下、略）</p>	<p><ファンド名></p> <p style="text-align: center;"><u>MASAMITSUデータセクション・</u> <u>ビッグデータ・ファンド</u></p> <p style="text-align: center;">運用の基本方針</p> <p>2. 運用方法</p> <p>(1) 投資対象</p> <p><u>MASAMITSUデータセクション・ビッグデータ・マザーファンド</u>（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券への投資を通じて、我が国の金融商品取引所上場株式に実質的に投資します。なお、我が国の金融商品取引所上場株式ならびに短期金融商品に直接投資することもあります。</p> <p>（中略）</p> <p>【有価証券および金融商品の指図範囲等】</p> <p>第17条 委託者は、信託金を、ファイブスター投信投資顧問株式会社を委託者とし三井住友信託銀行株式会社を受託者として締結された<u>MASAMITSUデータセクション・ビッグデータ・マザーファンド</u>（以下、「マザーファンド」といいます。）の受益証券、ならびに次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図することができます。</p> <p>（以下、略）</p>
---	--

マザーファンド

下線部は変更部分を示します。

変更後	変更前
<p><ファンド名></p> <p style="text-align: center;"><u>MASAMITSU・Link-U・</u> <u>ビッグデータ・マザーファンド</u></p>	<p><ファンド名></p> <p style="text-align: center;"><u>MASAMITSUデータセクション・</u> <u>ビッグデータ・マザーファンド</u></p>

下線部は変更部分を示します。

変更後	変更前

運用の基本方針	運用の基本方針
<p>2. 運用方法</p> <p>(2) 投資態度</p> <p>わが国の上場銘柄を投資対象とし、特定のテーマやセクター等に限定しません。また、バリュー株・グロース株のいずれも投資対象とします。</p> <p>「データ配信」と「AIソリューション」に強みを有する(株)Link-Uと共にソーシャルデータ(非数値データ)や各種経済データ(数値データ)の分析・解析を行い、それを運用者の知見と最適に融合させることで、ファンドリターンの極大化を目指します。</p> <p>ポートフォリオ構築は、株価上昇が見込まれる株を買付け、株価下落が見込まれる株を売付ける、株式ロングショート戦略を基本とします。また、銘柄選定は各種データの分析・解析の結果に基づき、ファンドマネジャーによる個々の企業の成長性・安定性・収益性を網羅したボトムアップリサーチにより選定します。</p> <p>(以下、略)</p>	<p>2. 運用方法</p> <p>(2) 投資態度</p> <p>わが国の上場銘柄を投資対象とし、特定のテーマやセクター等に限定しません。また、バリュー株・グロース株のいずれも投資対象とします。</p> <p>ビッグデータ分析における長年の業歴とトップクラスの実力を誇るデータセクション(株)と共同開発しました、各種経済データ(数値データ)やソーシャルデータ(非数値データ)を含む世の中の種々多様なデータであるビッグデータを分析する株価予測システム「ビッグデータ分析システム」を利用して、投資機会の極大化・投資タイミングの最適化を図ってファンドリターンの極大化を目指します。</p> <p>ポートフォリオ構築は、株価上昇が見込まれる株を買付け、株価下落が見込まれる株を売付ける、株式ロングショート戦略を基本とします。また、銘柄選定はビッグデータ分析システムを軸にファンドマネジャーによる個々の企業の成長性・安定性・収益性を網羅したボトムアップリサーチにより選定します。</p> <p>(以下、略)</p>

3. 投資信託約款変更適用日(予定)

2020年5月28日(木)

4. 投資信託約款変更の日程

投資信託約款の変更に関する書面決議の手続きは、以下の日程にて進めてまいります。なお、上記「2. 投資信託約款の変更内容 当ファンドおよび マザーファンド .」に記載した変更は、投資信託及び投資法人に関する法律および当ファンド、マザーファンドの各投資信託約款に規定される投資信託約款の重大な内容の変更には該当しません。したがって、上記「2. 投資信託約款の変更内容 マザーファンド .」に記載した変更の内容について、当ファンドの受益者を対象に書面決議を行います。

- ・書面決議の対象受益者の確定日 : 2020年3月12日(木)
- ・書面による議決権の行使の期間 : 2020年3月24日(火)から2020年4月22日(水)まで
- ・書面決議の日 : 2020年4月23日(木)
- ・投資信託約款変更適用日(予定) : 2020年5月28日(木)

5. 書面による決議(書面決議)について

当該投資信託約款の変更については、2020年3月12日現在の受益者に対して、書面決議にて賛否を問う方法により行い、議決権を行使することができる受益者の議決権の3分の2以上の賛成をもって可決・実施されます。受益者の賛成が得られず書面決議において否決された場合には、投資信託約款の変更はすべて行いません。

なお、2020年3月12日以降のお申込みにより取得された受益権については、書面決議の手続きの対象とはなりません。

6．反対受益者の受益権買取請求の不適用について

マザーファンドは、受益者が一部解約請求を行ったときは、委託会社が投資信託契約の一部の解約をすることにより当該請求に応じ、当該受益権の公正な価格が当該受益者に一部解約金として支払われることとなる委託者指図型投資信託に該当するため、書面決議の結果、2020年5月28日に投資信託約款を変更する場合、投資信託及び投資法人に関する法律第18条第1項に定める反対受益者による受益権買取請求の規定の適用は受けません。

ご購入に際しては、上記の内容を十分ご認識のうえ、ご判断くださいますようお願い申し上げます。